

尼崎市議会議長 様

年 月 日

所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求める署名

尼崎市南武庫之荘11-12-1
尼崎社会保障推進協議会

尼崎社会保障推進協議会では、子どもの医療費を中学卒業まで無料にすることを求めて署名活動に取り組み、14,000人を超える市民から寄せられ市議会に提出しました。また市議会の意見書とあいまって、子育て支援として大幅に医療費助成が拡充され、子育て中の保護者からたいへん喜ばれています。

しかし、小学1年から中学3年まで所得により一部負担金が存在し、通院無料は非課税世帯803人のみに限定され、全体の3%にも満たないものです。子育て世代からは、すべての子どもへの無料化を求める声が相次いでいます。あと1億9千万円でこの願いは実現できます。

子どもの医療費が中学3年までの通院・入院とも無料の自治体は、県下41市町のうち40市町にひろがりました。2021年度では19市町で所得制限がなく、安心して医療にかかることができるようになっています。

所得制限なしに、すべての子どもがお金の心配なく安心して医療を受けられるよう、下記の事項を求めます。

1, 所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学卒業まで無料にすること。

氏 名	住 所

取り扱い団体 兵庫県保険医協会尼崎支部

尼崎社会保障推進協議会 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘11-12-1 尼崎医療生協・組合員活動部内

兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

423号

2022年5月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

診療報酬改定研究会 尼崎会場に医科・歯科197人

診療報酬の大幅引き上げを



「75歳以上2割化」中止署名が尼崎会場では医科・歯科合わせて258筆集まった

協会は3月下旬から4月上旬にかけて診療報酬改定研究会を各地で開催。尼崎では、医科は3月26日(土)に、歯科は3月27日(日)に都ホテル尼崎で開催し、医科会場では71医療機関から100人、歯科会場では91医療機関から97人が参加した。

医科では綿谷茂樹支部長、長谷川吉昭副支部長、細見基信幹事、木村祐子幹事が、歯科では歯科社保講師陣が講師を務め、改定内容のポイントを解説。参加者は、熱心に内容に耳を傾けた。

研究会の冒頭では協会役員が、診療報酬をめぐる情勢について報告。国民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の経営と経営を支える責任が国にはあり、コロナ禍の今こそ診療報酬の「抑制策」は見直すべきこと、コロナ禍での受診抑制が短期的にはもちろん、中長期的にも国民の健康に悪影響を及ぼしていること、世界ではコロナ禍を受けて社会保障費を低く抑える新自由主義的政策が見直されていること等を踏まえ診療報酬の大幅引き上げと患者さんの窓口負担の引き下げが重要だと解説し、協会が取り組む「75歳以上の窓口負担2倍化中止を求める署名」への協力を呼びかけた。

参加者はマイナス改定に抗議し、診療報酬を引き上げ、医療従事者の待遇改善を求めて決議を拍手で採択した。

尼崎支部第51回総会のご案内

記念講演 記念講演は市民公開です。スタッフや患者さんのご参加もお待ちしています

うつ病も発達障害も増えているのか？

講師 精神科医 **野田 正彰** 先生



- 日 時 7月 23日(土)
- 会 場 尼崎商工会議所
(尼崎市昭和通3-96 阪神尼崎駅から北へ徒歩5分)
- 議 事 702 会議室 14:30 ~
- 記念講演 701 会議室 15:00 ~
- 参加費 無料

お問い合わせは Tel 078-393-1805 沖野・石本まで



第575回幹事会だより

4月28日(木) 於: わたや整形外科

○尼崎支部の会員数
4/1 現在 医科 378人、歯科 166人

○医療をめぐる情勢と運動対策
「75歳以上窓口負担2割化中止」を求める患者署名の取り組み目標(協力会員数109人・4,800筆)に対して、協力会員数が達成したことを報告し、署名目標の達成に向けて最後まで取り組むことを確認した。「所得制限なしにすべての子どもの医療費を中学校卒業まで無料にすることを求める署名」を新たにに取り組むことを確認し、市民に広く知らせるためにポスターの作成をすること、第51回支部総会を7月23日(土)に開催することを討議した。

○次回日程 5/26(木) 16:00 ~ わたや整形外科(阪急塚口駅から徒歩10分)

お問い合わせは Tel 078-393-1805 沖野・石本まで

尼崎市に「所得制限なしに、すべての子どもの医療費を 中学卒業まで無料にすることを求める新署名」にご協力を

尼崎支部は、尼崎社会保障推進協議会(尼崎社保協)とともに、中学卒業まで窓口負担を無料にすることを求める署名運動に取り組んできた。尼崎市は今年7月からこども医療費助成制度を一部拡充することを決めたが、今回の改善対策は不十分な内容であり、7月から無料になるのは、全体のわずか2.7%にすぎず、圧倒的多数の子どもたちは、引き続き窓口負担がかかる。

尼崎社保協は、所得制限なしにすべてのこどもの医療費を中学卒業まで無料化を求めるための新署名に取り組むことを決めた。4面に新署名を掲載しているので、引き続きのご協力をお願いしたい。



新署名スタート集会には会長の綿谷茂樹先生から応援メッセージが寄せられた。

協会尼崎支部が加盟する尼崎社会保障推進協議会は、中学校卒業まで医療費を無料にすることを求めて署名運動に取り組み、1万5,000筆超の署名を市議会に届けてきた。協会尼崎支部では、綿谷茂樹尼崎支部長(尼崎社保協会会長)が支部会員に署名への協力を要請する手紙を送り、1,000筆の協力を得た。また高原周治支部幹事が、ラジオ関西番組「医療知ろう!」に出演し「コロナ禍で生活が困窮する世帯が増加する中で、すべての子供たちが必要な医療を受けられるために、今こそ医療費助成の拡大が必要だと切実に思います」と訴えるなど、会員と県民にアピールを続けてきた。

これを受け尼崎市は、現在1日800円限度や2割負担だった医療費窓口負担を、市民税非課税世帯は無料とし、市民税所得割額23・5万円未満の世帯は、1日400円・月2回までにする。23・5万円以上の世帯は、現在の3割負担を、1日800円・月2回までとする。入院は、高校卒業まですべての子どもを無料にすることを決めた。

今回の尼崎市の改善案は、協会や尼崎社保協をはじめとする市民の要求が実現したものであるが、無料の範囲は市民税非課税世帯の子ども803人に限定しており、予算額もわずか900万円である。尼崎社保協は、4月以降、子ども医療費の完全無料化実現をめざし、新たな署名運動に取り組むとし、4月30日に署名スタート集会を開催した。集会には加盟団体から20人が参加し、実現に向けて今後も市民へ広く知らせて署名を集めることを確認した。

先生方におかれては、新署名にご協力いただきたい。(4面に新署名を掲載)